

発信元	琴浦町
担当課	教育委員会社会教育課
担当者	下村 嘉輝
連絡先	0858-52-1161
令和4年12月5日（月）	

「特別史跡齋尾廃寺跡発掘調査現地説明会」を開催します。

琴浦町では8月より特別史跡齋尾廃寺跡とくべつしせきさいのおはいじあとの発掘調査を実施しています。このたび、その発掘調査成果について、下記のとおり「現地説明会」を開催します。

1. 現地説明会

(1) 日時 12月10日（土） 午前10時30分～午前11時30分
受付 午前10時～

※少雨決行。雨天時は白鳳館内にて再調査の成果について解説を行います。

(2) 場所 晴天時：「特別史跡齋尾廃寺跡」現地 雨天時：白鳳館

(3) 駐車場 伊勢崎地区コミュニティ施設白鳳館
琴浦町槻下2268-1

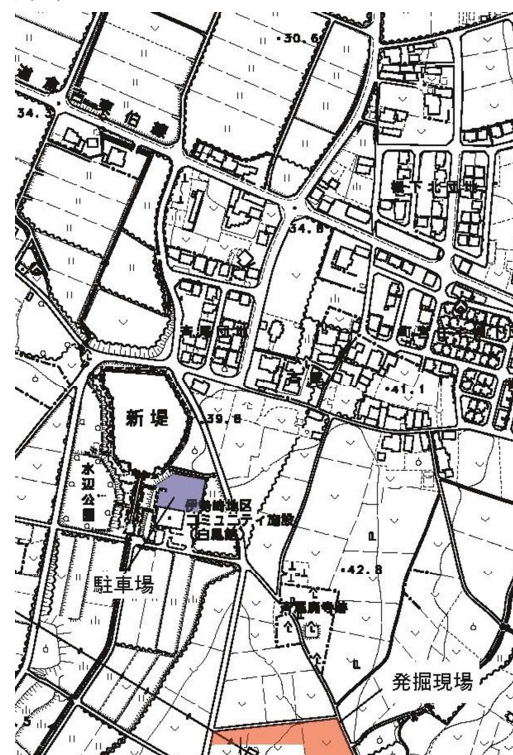
2. 齋尾廃寺跡の概要

特別史跡齋尾廃寺跡は白鳳期創建はくほうき そうけんの寺院跡です。現在でも金堂跡こんどうあと、塔跡とうあと、講堂跡こうどうあとの礎石列そせきれつが良好に残っており、主要伽藍しゅようがらん地（3,455㎡）は昭和27年3月29日に山陰地方唯一の特別史跡に指定されました。現在、琴浦町ではその後確認した齋尾廃寺を溝で区画した東西約160m、南北約250mの寺院地じいんちについても古代寺院の全容を窺い知ることができる貴重な遺跡として、追加指定、公有地化に取り組んでいます。

3. 令和4年度調査の概要

(1) 調査目的

今回の調査は齋尾廃寺跡でこれまでに実施した調査成果をまとめた調査報告書を作成するため、また、今後の史跡整備に必要な情報を得るために、昭和61年度～平成元年度の調査で見つけた遺構の現況を確認するための再調査です。再調査は令和3年度～令和5年度にかけて実施する予定です。今年度は指定地南側で5か所の調査区を再調査しました。



現説会場案内図

(2) 調査期間 令和4年8月30日
～12月15日(予定)

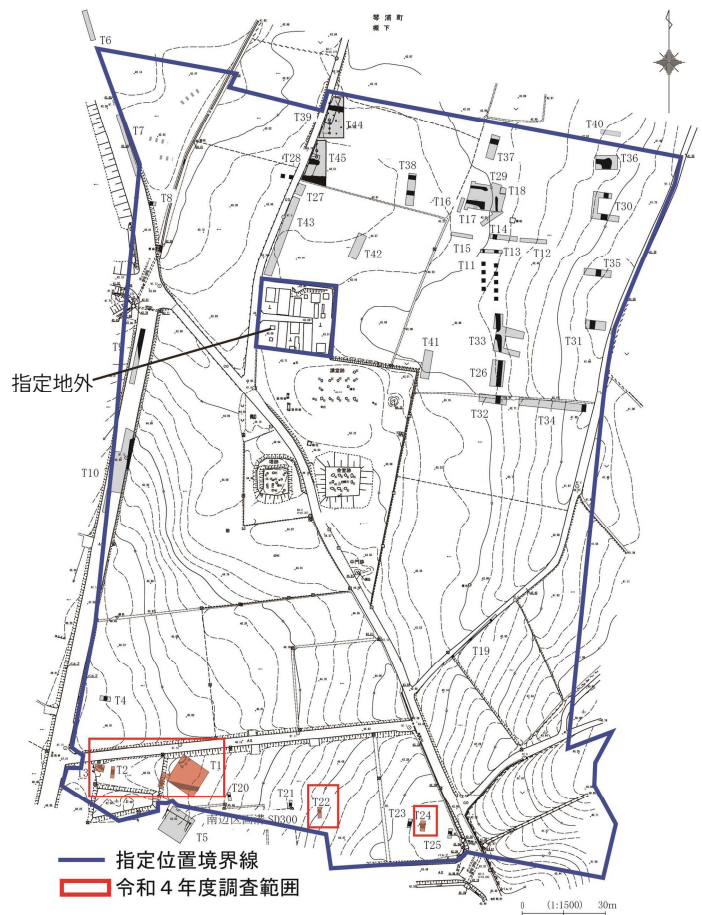
(3) 調査面積 165.22㎡

(4) 再調査の成果と見どころ

斎尾廃寺跡は内郭溝や外辺区画溝など幾条かの溝で囲われていたことが明らかになっていますが、今回の再調査では、区画溝のなかでもっとも外側にある外辺区画溝の南辺を調査しました。

溝の規模は幅約1.6m、深さ約70cmです。溝の形状や埋まった土の様子から、溝を掘り直したと考えられる痕跡も確認され、斎尾廃寺の区画施設の維持のされ方など検討するための成果がありました。

※外辺区画溝：斎尾廃寺跡を南北約250m、東西約160mで区画する溝。



指定範囲と令和4年度調査位置



トレンチ1南辺区画溝



溝の掘り直しと思われる痕跡(トレンチ1)